

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第532号（平成26年6月11日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

★調査研究部会 土壌汚染事業化PTの開催

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 資源循環ネットワーク、情報面でリサイクルP支援検討
2. 三池港の25年度リサイクル関連貨物は約19万t
3. リサイクルポート推進協議会が平成26年度総会を開催
4. 愛知県がゼロエミ構想事業化検討業務委託先募集

=====

《事務局からのお知らせ》

★調査研究部会 土壌汚染事業化PTを下記日程で開催いたします。

日 時：平成26年6月18日（水）15：30～

場 所：（一財）みなと総合研究財団 3階 会議室

【事務局】

1. 資源循環ネットワーク、情報面でリサイクルP支援検討

一般社団法人資源循環ネットワーク（福岡県北九州市）は、海上輸送による静脈物流の拡大に向け、リサイクルポートがより使いやすくなるような情報システムの立ち上げを検討している。排出者～輸送～資源化处理ニーズのマッチングを行い、同分野の事業拡大に貢献する。

資源循環ネットワークはNTT関連企業、響灘開発、リコーなどが正会員になっており、25年度にはリサイクルポート推進協議会にも新規加入している。

これまで、プラスチック、鉄くずなどの再生資源についての搬出～処理に関わるトレーサビリティ認証、廃棄物処理等の情報管理、コンサルタント業務などを企業から受託している。また中国との間にリサイクルチェーンを構築、インターネットを活用して排出事業者からの出荷～入荷～再生処理事業者までのリサイクルチェーン情報システムを構築、ICタグを通じて問題なく処理されたかどうかを確認できるようなシステムを具体化している。

リサイクルポート協議会への入会を通じてこうしたノウハウを提供し、同分野に貢献したい考えである。

【港湾空港タイムス】

2. 三池港の25年度リサイクル関連貨物は約19万t

福岡県港湾課がリサイクルポート三池港についてまとめた平成25年度の循環資源取扱量は19万3000tだった。ここ数年約20万t前後で推移している。

三池港では背後に立地している三井金属工業(株)の三池精練(株)が、製鋼の過程で発生する製鋼煙灰などの有害産業廃棄物(鉍滓)を無害化処理し、リサイクル材としての粗酸化亜鉛やMFマットを生産している。

三池港からはこれらリサイクル製品を東南アジアやロシアに輸出している。

25年度の三池港のコンテナ等を含む貨物取扱量は全体で約214万7000t(前年度ほぼ同量)で、このうちリサイクル貨物は上記の三池精練製品が中心である。

三池港でのリサイクル貨物取扱合計19万3000tの内訳は、輸出が12万3000tで約64%を占めており、ほかに移出1万2000t、移入5万8000tとなっている。

【港湾空港タイムス】

3. リサイクルポート推進協議会が平成26年度総会を開催

リサイクルポート推進協議会(会長・米田徹糸魚川市長)は6月3日、平成26年度総会を東京都品川区の第一ホテル東京シーフォートで開催した。新規会員の承認や25年度活動並びに歳入・歳出報告、26年度活動計画案など所定議案について審議し、いずれも原案通り了承された。当日はリサイクルポートに係る講演会も開かれ、国土交通省、ならびに環境省から講師を招き、リサイクルの推進に向けた行政の取組についての説明を受けた。

総会開催にあたって米田会長は「先の東日本大震災に伴って発生した災害廃棄物については、当協議会が作成した冊子プランに基づく海上輸送による広域処理が実現し、復旧復興に貢献できた。今後はこうした実績を元に、将来その発生が懸念される巨大災害に備えた災害廃棄物処理に関する官民連携体制の検討について、積極的に取組んで参りたい。また国土交通省と環境省の連携による『モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業』を活用するため、循環資源の海運拡大に向けた取組を積極的に進め、循環型社会形成の更なる推進に向け貢献していきたい」と挨拶、関連事業促進への会員協力を呼びかけた。

また来賓として松原国土交通大臣官房審議官が、「国土交通省では今年3月、環境行動計画を策定し、その一つの柱として循環型社会形成に向けた取組を打ち出している。会長からご紹介のあった「低炭素型静脈物流促進事業」は、静脈物流を促進するため、民間の事業に国が補助していこうとするもの。先般公募を行い当協議会からも大きな関心を寄せて頂いた。協議会会員各位におかれてはこれまで蓄積されてきたノウハウ、そして関係者間のネットワークを遺憾なく発揮して頂き、広域リサイクルビジネスが更に発展することに期待している」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

4. 愛知県がゼロエミ構想事業化検討業務委託先募集

愛知県環境部資源循環推進課は6月5日付で、「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想事業化検討」に係る3件の業務委託先を募集している。

委託業務の内容は①バイオガスの活用による都市マンション等におけるゼロエミッション構想、②工場等排熱の有効利用構想、③食品廃棄物のバイオマス多目的利用構想。いずれも委託見積金額の上限は196万3000円。

県では6月12日に県自治センターにて説明会を開催する。参加希望者は11日午後5時までにメールにて申込が必要。詳細は県ホームページ参照。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：細貝 隆司 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、大矢、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####